

ヘルテック 11月号

2019年11月発行
熊本工業高等学校
生徒保健委員会
久野（繊維1）
広瀬（繊維1）
日置（イン1）

災害時のトイレアクション

熊工祭発表のまとめ版

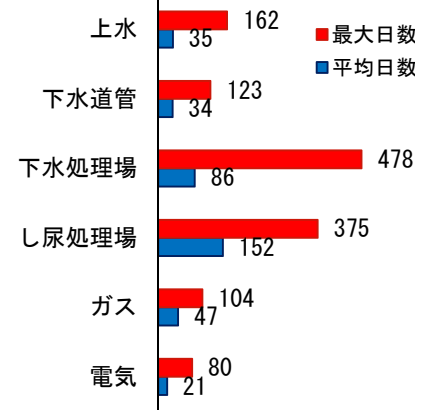
災害時、水洗トイレは使えない

災害時、停電・断水・給排水管や污水处理施設の損傷など、様々な理由で水洗トイレは使用できなくなります。



水が流れないトイレを使用したら、あっという間に便器内は排泄物の山となり、手洗い場も同様に使用できません。

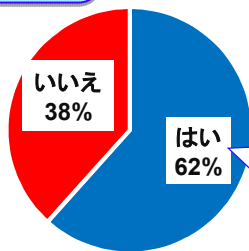
ライフラインの復旧において、電気の仮復旧は、他のインフラと比較して早い傾向があります。また、生活インフラは概ね「電気→ガス→上下水道」の順で仮復旧し、**下水・し尿処理場の仮復旧は長期にわたる**ことから、代替方策を十分に検討する必要があります。



東日本大震災被災自治体におけるライフライン別の仮復旧までの日数
(協力: 日本トイレ研究所)

災害時のトイレに関するアンケート調査結果

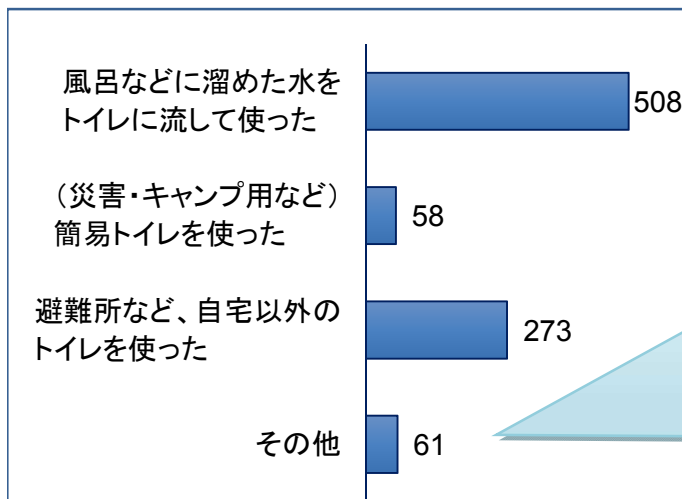
質問1 災害時（地震や風水害等）に、自宅トイレが故障や断水で使えなくなったことがありますか



アンケートの回答者1165名中、「はい」と答えた人が718名でした。

熊工生の出身中学校は、熊本地震の影響が大きかった上益城郡と阿蘇郡市・熊本市内の生徒が約63%なので、『はい』と答えた生徒の割合と関係しているかもしれません。

質問2 その時、どうしましたか。選択肢から選んで○をつけてください。（複数回答可）



「その他」に書かれていたもの

- ・我慢した
- ・近くの水源地
- ・井戸の水
- ・水道局の給水車
- ・川の水
- ・団地下の非常用水道の水
- ・湧き水
- ・復旧するのを待った
- ・江津湖の水
- ・トイレを使わなかった
- ・用水路
- ・発電機を使用した
- ・職場のトイレ
- ・親が直した
- ・学校の水
- ・一瞬水が使えるときに溜めた
- ・公園の水
- ・小学校のプール
- ・トイレのタンク内の水で耐えた
- ・自衛隊の人が持ってきてくれた
- ・自宅1階トイレは故障したが2階は使えた

トイレアクションの自助・共助・公助

熊工のSPHは、「産学官協働により災害対応型エンジニアを育成する」をテーマに取り組んでいます。保健委員会の取り組む「トイレアクション」もSPHのキーワードである「自助・共助・公助」をポイントに進めてみました。



自助

災害時には「自分の命は、自分で守る」という考えのこと。

- ・最低3日分の水の確保
- ・簡易トイレの備蓄

共助

町内会や校区くらいの、顔の見える範囲内における地域コミュニティで、災害発生時に力をあわせること。

- ・避難所トイレの衛生管理・感染症予防
- ・災害時要援護者へのサポート

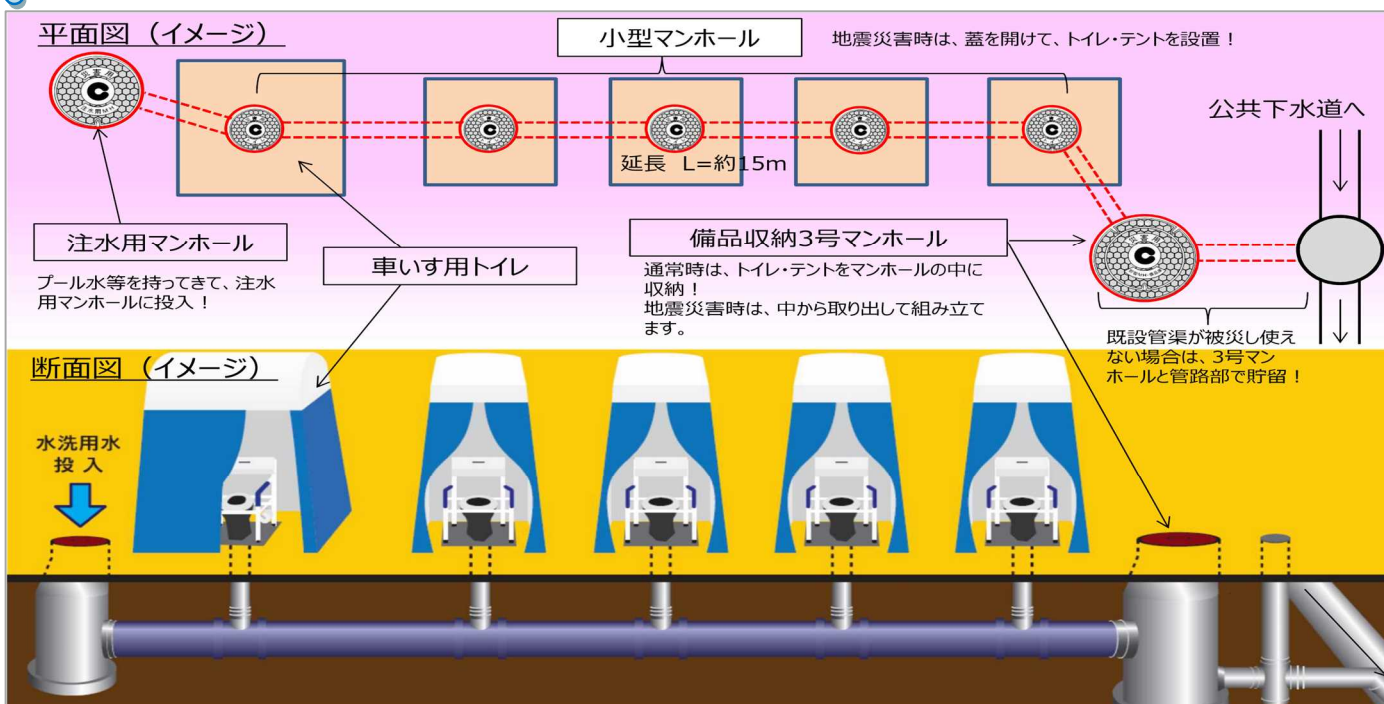
公助

自治体や消防・警察による救助活動や物資の提供など、公的支援のこと。

- ・ライフラインの早期復旧
- ・マンホールトイレなど

熊本市のマンホールトイレについて

保健委員会では、9月25日に熊本市上下水道局を訪問し、マンホールトイレについて取材した。



マンホールトイレが設置されている学校

1校につき5基設置されている

小学校 (10校)

白山小 城西小 池上小 池田小 花園小 帯山小
若葉小 飽田東小 古町小 北部東小

中学校 (28校)

白川中 京陵中 西原中 下益城城南中 竜南中
井芹中 北部中 帯山中 託麻中 清水中 江原中
湖東中 長嶺中 出水中 出水南中 城南中
桜木中 竜田中 藤園中 江南中 日吉中 東部中
楠中 桜山中 東町中 力合中 三和中 武蔵中



水道局では、管路維持課のみなさんに詳しく説明していただきました！